

TUP500

ソフトウェアマニュアル

- Status Monitor -

目 次

1. 設定方法.....	2
1.1 デバイスの選択：Select Device.....	3
1.2 ステータス取得：Get Status	5
1.3 コマンドライン引数の設定方法.....	6
2. ステータス一覧.....	7
3. メッセージ一覧.....	8
4. 改訂履歴	9

はじめに

- TUP500 Status Monitor は Windows 2000(SP3 以降) / XP / Vista 32bit に対応しています。
また、64bit OS には対応しておりません。
- TUP500 Status Monitor を使用して、TUP500 プリンタのステータスを取得・確認することができます。
- 任意の場所に解凍することでご使用いただけます。
- デバイスの選択により、プリンタキューを指定してステータスの取得を行う方法と、ポートを指定してステータスの取得を行う方法の2種類の動作が可能です。

それぞれ以下のような特徴があります。

プリンタキューを指定： Select Printer Queue (Printer User)	ポートを指定： Select Port
<ul style="list-style-type: none"> ・ TUP500 プリンタドライバおよびランゲージモニタのインストールが必要 ・ 登録されているプリンタキューが表示されるので選択するだけで使用可能 ・ デバイスリセットは非対応 ・ USB : Vendor Class は非対応 ・ Star Line Mode 対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別のソフトウェアのインストールは不要 ※1 ・ I/F 選択・PortName の入力等、設定が必要な場合がある ・ デバイスリセットが可能 ※2 ・ USB : Vendor Class に対応 ・ Star Line Mode ・ Star Page Mode 対応

※1 USB : Printer Class ではプリンタドライバが必要

※2 取得方法・I/F に制限事項あり

ご使用の環境・用途に合ったデバイスを選択してご使用ください。

- ESC/POS モードでの使用には対応しておりません。
- TUP500 Status Monitor は、設定値の保存に対応しておりませんが、ショートカットを作成してコマンドライン引数を指定することにより、TUP500 Status Monitor の起動時の状態を指定することができます。詳しくは「1.3 コマンドライン引数の設定方法」をご参照ください。
- この TUP500 Status Monitor 圧縮プログラムには SDK を含んでおり、お客様がステータス取得のプログラムを作成する際の参考にご利用いただけます。(対応言語：c++)
SDK は、解凍した任意の場所の "TUP500_StatusMonitor_Ver1_0\SDK" に格納されています。
詳しくは解凍した任意の場所の "TUP500_StatusMonitor_Ver1_0\SDK\C++\StatusMonitor" に格納されている readme.txt をご参照ください。

1. 設定方法

TUP500 Status Monitor の起動は、以下の手順で行ってください。

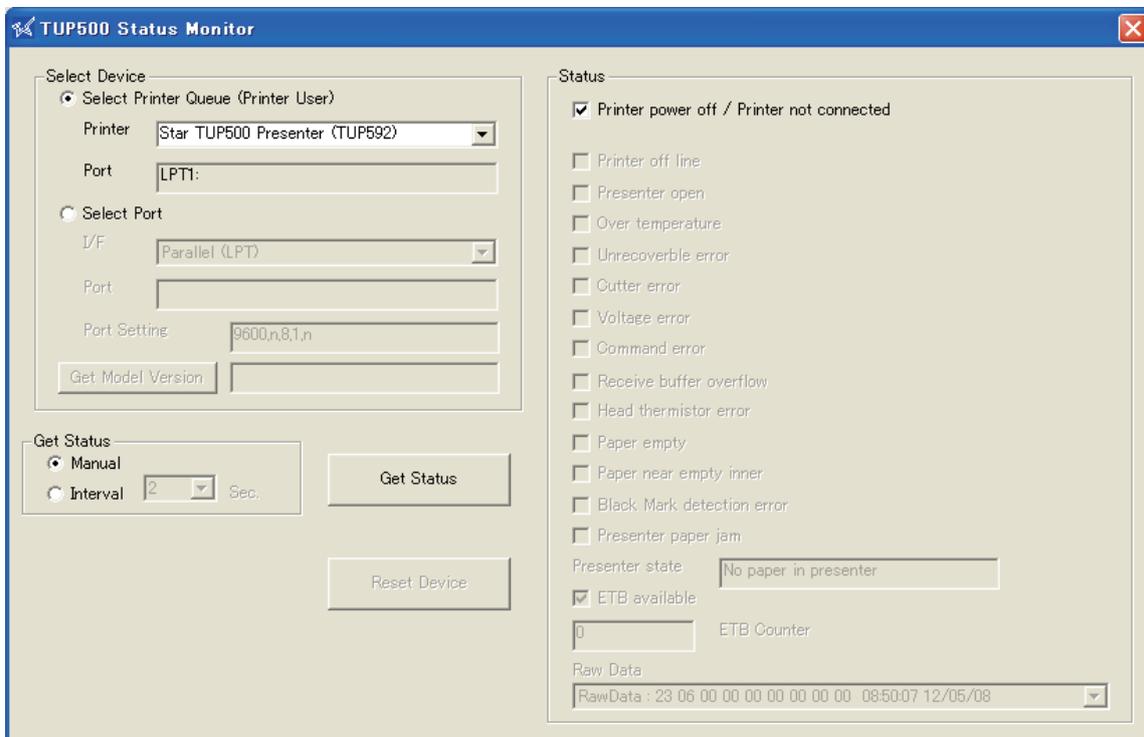
■ Windows 2000(SP3 以降) / XP の場合

解凍した任意の場所から [Star_TUP500_StatusMonitor_Ver1_0\StatusMonitor\StatusMonitor.exe] を実行してください。

■ Windows Vista の場合

解凍した任意の場所から [Star_TUP500_StatusMonitor_Ver1_0\StatusMonitor\StatusMonitor.exe] を右クリックし、プルダウンメニューより [管理者として実行] を選択してください。

以下の画面が表示されます。



※プリンタキュー設定済み画面

1.1 デバイスの選択：Select Device

1.1.1 プリンタキューを指定してステータスを取得する場合：Select Printer Queue (Printer User)

プリンタキューを指定してステータスを取得するには、“Select Device” より “Select Printer Queue” を選択します。

■ 事前に以下の準備が必要です。

- TUP500 プリンタドライバおよびランゲージモニタのインストール
- プリンタキューの作成
- プリンタドライバにてステータスの取得が可能となるよう設定

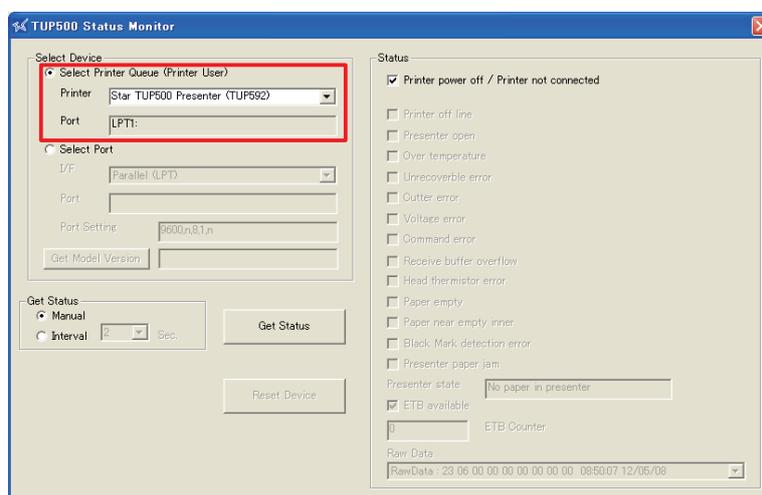
[プリンタのプロパティ]-[TUP500 設定] タブより、「プリンタステータス設定ツール」を起動してプリンタステータス “有効” にチェックを付けます。

詳しくは別冊の TUP500 ソフトウェアマニュアル「1. インストール / アンインストール」および「3.1 プリンタステータス設定ツール」をご参照ください。

上記の条件が整った環境で TUP500 Status Monitor を起動しますと、“Select Printer Queue” の “Printer” リストボックスにインストールされている TUP500 プリンタが表示されます。

ステータスを取得したいプリンタを選択してください。

“Port” には、選択したプリンタのポート名が表示されます。

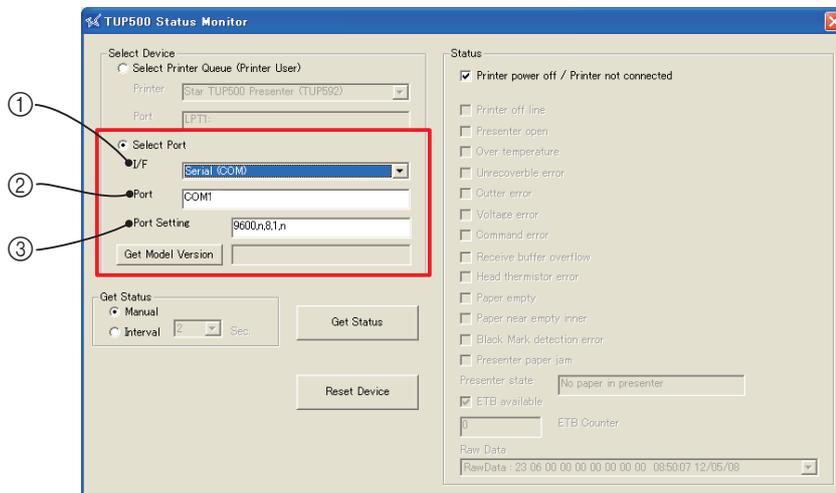


注記： USB : Vendor Class での使用には対応していません。

また、仮想ポートエミュレーターを使用して作成したポート名では使用できません。

1.1.2 ポートを指定してステータスを取得する場合：Select Port

ポートを指定してステータスを取得するには、"Select Device" より "Select Port" を選択します。



- ① ステータスを取得するポートのインターフェースを選択します。
Parallel(LPT) / Serial(COM) / USB Vendor Class / USB Printer Class / LAN より選択が可能です。
- ② ポート名を設定します。
インターフェース (①) を選択すると、そのつど設定値に応じた初期値が設定されます。
設定内容はインターフェースによって異なり、さらに設定が必要な場合もあります。

I/F ①	ポート名 ②		
	初期値	設定内容	設定例
Parallel(LPT)	LPT1	LPT ポート番号	LPT1
Serial(COM)	COM1	COM ポート番号	COM1
USB Vendor Class	usbvsn:	usbvsn: (省略) ※1	usbvsn:
		usbvsn:COM ポート名	usbvsn:com1
USB Printer Class	usbprn:	usbprn: プリンタキュー名	usbprn:STAR TSP500 Presenter (TUP592)
LAN	TCP:	TCP:IP アドレス	TCP:192.168.32.100

※1 最初に割り当てられた COM ポートが選択される

- ③ ポートの設定内容を設定します。
Serial (COM) I/F 使用時のみ必要です。プリンタの設定内容に合わせて設定してください。

初期値	設定内容	設定例
9800,n,8,1,h	ボーレート (38400/19200/9600/4800), パリティ (n/e/o), データビット (7/8), ストップビット (1), フロー制御 (h/n) ※2	38400,n,8,1,n

※2 フロー制御 "Xon/Xoff" には対応していません。

[Get Model Version] をクリックすると、接続しているプリンタの Fw バージョンを表示します。

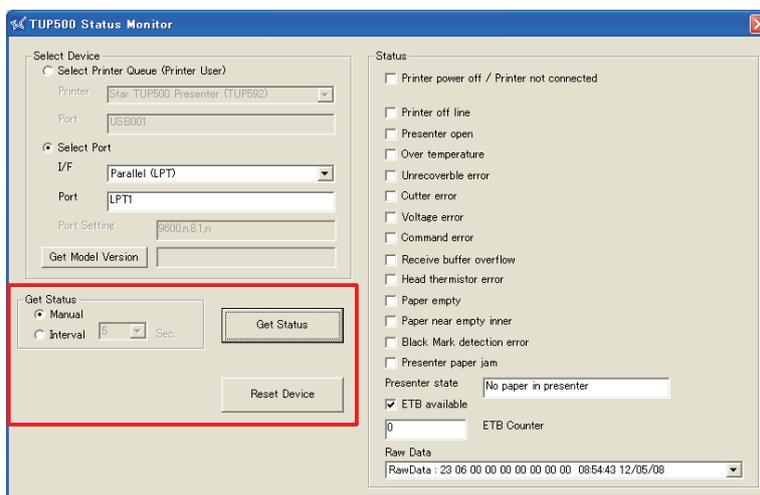
注記： 1) 仮想ポートエミュレーターを使用して作成したポート名では使用できません。
2) プリンタドライバで使用されているポートを指定した場合、ステータスの取得が行えないことがあります。

1.2 ステータス取得：Get Status

TUP500 Status Monitor は、Manual（手動）／Interval（自動）によるステータスの取得が行えます。

1.2.1 手動取得：Manual

ステータスの取得を手動で行うには、"Get Status" より "Manual" を選択します。



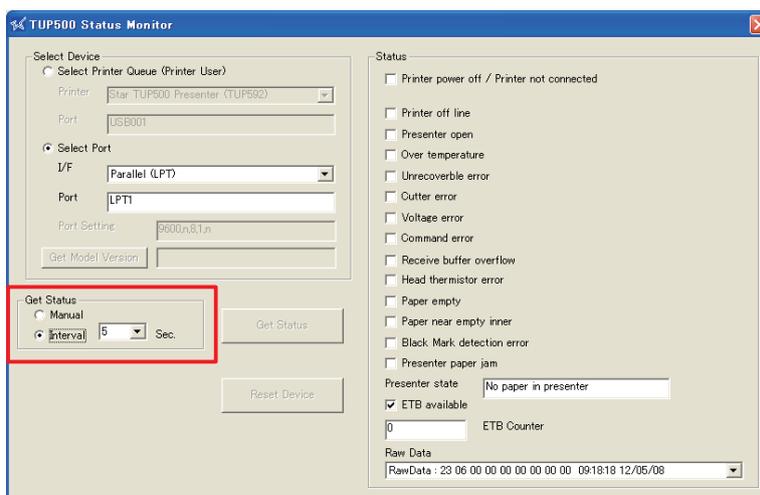
[Get Status] ステータスを取得して表示します。

[Reset Device] TUP500 Status Monitor からプリンタのリセットを行います。

注記： "Reset Device" は、Serial(COM) I/F ・ LAN I/F での使用には対応していません。
また、Parallel(LPT) では、プリンタの DIP-SW 1-5 が ON の時に動作します。

1.2.2 自動取得：Interval

ステータスの取得を自動で行うには、"Get Status" より "Interval" を選択します。



ステータスを取得する周期を（1,2,5,10）秒から選択します。

指定した周期でステータスを取得して表示を更新します。

1.3 コマンドライン引数の設定方法

Status Monitor.exe へのショートカットを作成し、パラメータを設定することにより、Status Monitor の起動時の状態を指定することができます。

パラメータは、作成したショートカットのリンク先に以下のフォーマットで設定することができます。

StatusMonitor.exe P1 P2 P3 P4 P5

■ プリンタキューを指定する設定パラメータ

P1	Printer/Port の選択 Printer ランゲージモニターからステータスを取得します。
P2	ステータス取得方法 (Manual/1/2/5/10) Manual 手動取得: "Get Status" ボタンによりステータスを取得します。 1,2,5,10 自動取得: 1,2,5,10 秒周期でステータスの取得を行います。
P3	Printer Que Name: プリンタと FAX フォルダに表示されているプリンタキュー名

例) StatusMonitor.exe Printer M "Star TUP500 Presenter(TUP592)"

StatusMonitor.exe Printer 2 "Star TUP500 Presenter(TUP592)(コピー 1)"

■ ポートを指定する設定パラメータ

P1	Printer/Port の選択 Port StarIO からステータスを取得します。
P2	ステータス取得方法 (Manual/1/2/5/10) Manual 手動取得: "Get Status" ボタンによりステータスを取得します。 1,2,5,10 自動取得: 1,2,5,10 秒周期でステータスの取得を行います。
P3	Port: ステータスを取得するポートの種類 (LPT/COM/USB Printer Class/USB Vendor Class/LAN)
P4	Port Name: ステータスを取得するポート名
P5	Port Setting: シリアル I/F のポートの設定

※ P3,P4,P5 の設定値に関して、詳しくは「1.1.2 ポートを指定してステータスを取得する場合」をご参照ください。

例) StatusMonitor.exe Port M LPT LPT1

StatusMonitor.exe Port M COM COM1 38400,n,8,1,h

StatusMonitor.exe Port 2 "USB Vendor Class" usbven

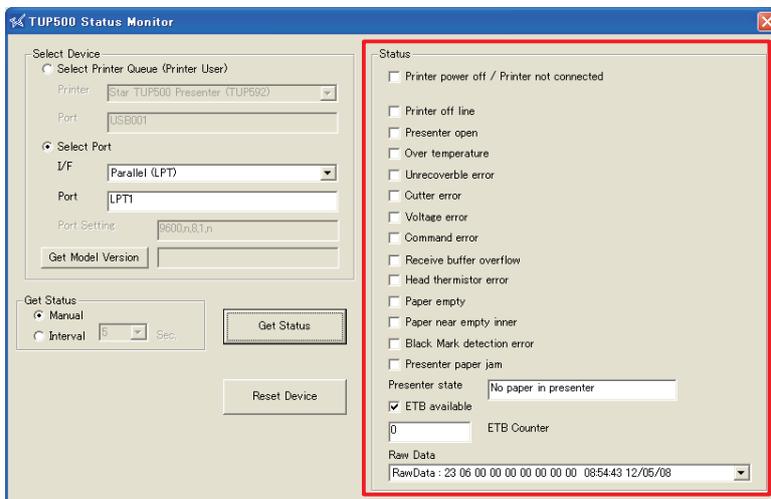
StatusMonitor.exe Port 5 "USB Printer Class" "usbprn:Star TUP500 Presenter(TUP592)"

StatusMonitor.exe Port 10 LAN TCP:192.168.32.100

Point! パラメータに誤りがあっても、その前までのパラメータは有効となります。

2. ステータス一覧

取得できるステータスの種類・内容は、下表の通りです。



表示	内容	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Printer power off / Printer not connected	プリンタ電源 / プリンタ通信	OFF / 不可	ON / 可
Printer off line	ON-LINE / OFF-LINE 状態	OFF-LINE	ON-LINE
Presenter open	プレゼンタの状態	オープン	クローズ
Over temperture	ヘッド高温による停止	停止中	稼動中
Unrecoverble error	復帰不可能エラー	エラー発生	エラー無し
Cutter error	オートカッターエラー	エラー発生	エラー無し
Voltage error	電源電圧エラー	エラー発生	エラー無し
Command error ※ 1	コマンドエラー	エラー発生	エラー無し
Receive buffer overflow	受信バッファオーバーフロー	オーバーフロー発生	オーバーフロー発生無し
Head thermistor error	ヘッドサーミスタエラー (サーミスタ故障・断線等)	エラー発生	エラー無し
Paper empty	用紙エンド (排出口)	用紙無し	用紙あり
Paper near empty inner	用紙ニアエンド (内側)	用紙無し	用紙あり
Black Mark detection error	ブラックマークエラー	エラー発生	エラー無し
Presenter paper jam ※ 2	プレゼンター紙ジャムエラー	エラー発生	エラー無し
Presenter state ※ 2	プレゼンタ用紙位置		
	・プレゼンタ内部に用紙がない状態	No paper in presenter	
	・用紙を給紙した状態 (ループ状態)	Paper loaded(Loop)	
	・用紙を排出した状態 (引き抜き可能)	Paper ejected	
	・用紙回収状態	Paper retracted	
ETB available	ETB の状態	有効	無効
ETB Counter	ETB カウンター		
Raw Data	プリンタからの生データ		

※ 1 ポート指定時、Star Page Mode のみで有効 ※ 2 TUP592 のみで有効

注記：1) "Presenter state" を動作させるには、メモリスイッチの [通信設定] - [ASB プレゼンタ用紙位置ステータス] を " 有効 " に設定してください。

2) ステータスの詳細については、別冊の「コマンド仕様書」をご参照ください。

3. メッセージ一覧

以下のメッセージが表示された場合には、下表を参考にして対処してください。

メッセージ	内容と対処方法
Language Monitor is not installed !	ランゲージモニターがインストールされていません。 ランゲージモニターをインストールしてください。
Can't find stsmon.dll !	"stsmon.dll" が見つかりません。 ランゲージモニターを再インストールしてください。
Can't get printer status. Check the printer driver setting !	プリンタステータスを取得できません。 プリンタドライバの設定を確認してください。
Illegal first parameter ! (Set Printer/Port)	第1パラメータが正しくありません。 (Printer/Port) から値を設定してください。
Illegal second parameter ! (Set M/1/2/5/10)	第2パラメータが正しくありません。 (M/1/2/5/10) から値を設定してください。
Illegal third parameter ! (Set LPT/COM/USB Vendor Class/USB Printer Class/LAN)	第3パラメータが正しくありません。 (LPT/COM/USB Vendor Class/USB Printer Class/LAN) から値を設定してください。
Wrong port name !	ポート名が正しくありません。
Error on Open Port. Check the Port !	ポートが開けません。ポートを確認してください。
Error on <Get Model Version>. Check the Printer !	モデルバージョン取得エラーです。プリンタを確認してください。
Now getting status.Please wait for a while.	ステータス取得処理中です。少しお待ちください。
Do you want to quit this program ?	StatusMonitor を終了しますか？



特機事業部

〒424-0066

静岡県静岡市清水区七ツ新屋 536

電話 : 054-347-0112 (営業直通)

<http://www.star-m.jp/dl/dl02.htm>